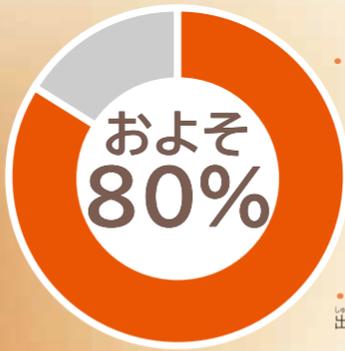


## 2人に1人は がんになる時代



自分や身近な人が  
がんにかかったことが  
ある人

出典:2023年度「横浜市がんに関するアンケート調査結果報告書」

早く見つけて 早く治療しよう

くわしいことは  
2・3ページへ



市長だより

2人に1人はがんになる時代です。横浜市のアンケートでも「自分や身近な人ががんにかかったことがある」と答えた人は、80%以上になりました。

がんはこわい、というイメージがありますが、一般に、初期の段階で見つけて手術などの治療を始めれば、なおることが期待できる病気です。しかし、初期のがんは自分で感じる症状がないことが多くて、気がつかないまま、進行するケースが多いのも事実です。初期の段階で見つけるためには、がん検診を受けることが大切です。

横浜市は、2024年度から「65歳になった人」のがん検診を無料にしました。退職すると検診の機会が少なくなるので、退職した後の定期的な受診のきっかけにしてください。2025年1月からは、「70歳以上の人」のがんの精密検査を無料にします。

そして、もっと便利になるように、市内でがん検診をしているおよそ1,400の医療機関が、土よう・日よう・夜間に受診できるかどうか、近くの駅、がん検診の種類などから、いちどに検索できるサイトを新しくオープンします。ぜひ利用してください。

女性に多いがんへの対策も強化します。子宮頸がんは30~40代でかかる人がいちばん多くなりますが、その検査に、欧米で推奨されている「HPV検査単独法」を全国で初めて導入します。遺伝する一部のがん（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）をしらべるための検査費用やカウンセリング費用の助成も全国で初めて開始します。

これからも、市民のみなさんがもっと安心できるように、あらゆる世代への総合的ながん対策にとりくんでいきます。

よこはましちよう やまなかたけはる  
横浜市長 山中竹春

# がん検診、受けていますか？

日本人の死亡原因で最も多いのが、がんです。生涯のうち2人に1人がかかると言われています。がんをなおすには、早く見つけて、早く治療することがなによりも大切ですが、最初のころは、たいていのがんに症状がないので、「自分はだいじょうぶ」と思いがちです。

「もっと早く検診を受けておけば…」と後悔しないように、自覚症状がない時にこそ検診を受けましょう。

職場などでがん検診を受ける機会がありますか？

- ある ▶▶ 職場などでがん検診を受けましょう
- ない ▶▶ **横浜市のがん検診を受けましょう**

横浜市では、20歳から受診できる子宮頸がんなど、かかりやすくなる年代別に右の6種類のがん検診を行っています。

横浜市がん検診についてはこちら 

### 横浜市のがん検診の種類

<b>肺</b> 40歳以上 エックス線検査		<b>乳</b> 40歳以上 マンモグラフィまたはマンモグラフィ+視触診
<b>胃</b> 50歳以上 内視鏡またはエックス線検査		<b>大腸</b> 40歳以上 便潜血検査
<b>前立腺</b> 50歳以上 血液検査		<b>子宮頸部</b> 30~60歳 HPV検査(2025年1月から) ※くわしいことはつぎのページへ 20~29歳・61歳以上 細胞診検査

性別指定: 男性だけ (前立腺), 女性だけ (乳, 子宮頸部)

## 横浜市だけのとりくみ

### シニア世代の人へ 無料で気軽にがん検診



#### 65歳のがん検診が無料に

65歳の人には、**無料のがん検診クーポン**が送られてきます。退職すると検診の機会が少なくなるので、ぜひ自分から定期的に検査をしてほしいからです。

【あてはまる検診】横浜市がん検診(肺、胃、大腸、乳、子宮頸部、前立腺) 【あてはまる人】1958年4月2日~1959年4月1日生まれの市民

#### 70歳以上の精密検査が無料に **2025年1月から**

70歳以上の人で、2025年1月より後に横浜市がん検診(無料)を受けて、**精密検査が必要となった場合に、検査の費用を助成**します。がんになる可能性が大きく高まる世代の人たちに、がんを早く発見して早く治療してもらうためです。

【あてはまる検診】横浜市がん検診(肺、胃、大腸、乳、子宮頸部)前立腺の検査には助成がありません

【あてはまる人】1955年4月1日より前に生まれた市民

がん検診については「**横浜市けんしん専用ダイヤル**」で

**きくところ** TEL:045-664-2606 (月~土よう8:30~17:15(日よう・祝日、年末年始はお休み)) FAX:045-664-3851

全国で初めてのとりくみ

# 女性に多いがんのリスクをチェック



## 子宮頸がんの原因になるウイルス(HPV)をチェック 2025年1月から

「がん」と聞くとシニア世代の病気と思う人もいますが、子宮頸がんは、若い女性に多く、**30~40代がピーク**です。横浜市は、欧米で推奨されている子宮頸がん検査(HPV検査)を、全国で初めて導入します。

がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)に感染しているかどうかをしらべ、リスクのある人へのフォローを行うことで、より確実ながんの早い発見につながります。

【あてはまる人】30~60歳の女性 【受診間隔】5年に1回  
【自分ではらう金額】2,000円(市民税非課税世帯などは免除)

こんなメリットも！

受診は5年に1回でOK

新しく始まるHPV検査は、結果が陰性であれば、つぎの受診は5年後となります。これまでの2年おきの検査に比べて、受診の負担がかるくなります。

## がんが遺伝するリスクをチェック 2024年11月から

家族や親せきでがんになった人がいても、ほとんどのがんは遺伝しません。しかし、めずらしいことですが「がんになりやすい遺伝子」を持つ人がいて、子や孫の世代に受けつがれることがあります。

横浜市は、家系に遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)の人がいる人たちにたいして、「将来がんになりやすい遺伝子を持っているか」をしらべる検査費用への助成を、全国で初めて行います。

【助成内容】

- 遺伝カウンセリング …… 70%助成(1万円まで)
- 遺伝子検査 …… 70%助成(3万円まで)

【あてはまる人】

親・子・きょうだいHBOCである人(18~69歳)で2024年4月1日より後にカウンセリング・検査を受けた人

# こんなとりくみもしています

## 卵子・精子などの凍結保存についての助成

がんと診断されて、抗がん剤治療などを始める前に、将来子どもをさずかることの可能性について考えてみませんか。パートナーがいてもいなくても、カウンセリングなどの費用を助成しています。



助成を受けるための条件はこちら

カウンセリング

横浜市による助成

卵子・精子の凍結保存  
(妊育性温存)

卵子・精子の保存更新

横浜市による助成

温存後の生殖補助医療

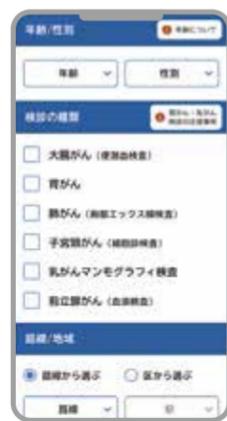
## 検診施設を便利にさがせる 2024年11月から

現在、横浜市内のおよそ1,400施設でがん検診を受けられますが、施設によって条件がちがいます。

横浜市は、土よう・日よう・夜間の受診ができるかどうかや、近くの駅、がんの種類などの情報から、つごうのいい条件で施設検索ができるサイトを新しくオープンします。



▲サイト画面イメージ



## 小児がん患者などの交流機会づくり

小児がん患者のみならず、子どもが外見を気にしないで安心して楽しめるように、メタバース(仮想空間)を利用した交流体験をはじめとしています。



▲交流体験のようす

## がんになっても安心サポート がん相談支援センター

拠点病院や指定病院にあるがん相談支援センター(市内13か所)では、がん専門相談員が患者自身や家族からのさまざまな質問や相談に無料で答えます。

仕事や日常生活、お金・治療などの不安についても相談できます。



くわしいことはこちら

**1月に横浜で初めて開催！** 授賞式に1,000人を無料で招待！  
**日本eスポーツアワード2024**

その年にもっとも活躍したeスポーツ選手や人気キャスターなどが集まる、年に一度の祭典「日本eスポーツアワード」が、初めて横浜で開かれます。会場には、eスポーツを無料で体験できるブースもあります。

この機会にぜひ、eスポーツの熱気を感じてみてください！

【日時】2025年1月15日(水)16:00~20:00(予定)

【会場】パシフィコ横浜 国立大ホール(西区みなとみらい1-1-1)

【もうしこめる人】横浜市に住んでいる人、市内に職場や学校がある人

【もうしこみ期間】11月8日(金)~12月2日(月)

※もうしこみが多い場合は抽選となります。



もうしこみはこちら



日本eスポーツアワードについてはこちら



▲2023年の年間最優秀eスポーツプレイヤー賞にかがやいたあcola選手

**eスポーツとは**

コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦競技。2025年にはIOC主催の「オリンピックeスポーツゲームズ」も開かれることになり、世界的に盛り上がりを見せています。日本でも若い世代はもちろん、高齢者の健康づくりにも採用されています。このように年齢、性別、国籍に関係なく、また障害があってもなくても、だれでも参加できる競技なので、さまざまな分野で活用が期待されています。

広報よこはまPlusでは、あcola選手へのインタビューなどeスポーツの魅力について伝えています。



きくところ にぎわいスポーツ文化局にぎわい創出戦略課 TEL:045-671-4851 FAX:045-550-4688

**2月に横浜で初めて開催！** 観戦チケットを2,000名にとくべつに早く販売！  
**日本カーリング選手権大会 横浜2025**

日本一のカーリングチームを決める国内で一番の大会が、横浜で初めて開かれます。この大会は、2026年にミラノ・コルティナダンパツォで開かれる冬のオリンピック競技大会の日本代表候補を選ぶための重要な試合です。氷の上の熱い戦いを横浜で観戦しませんか。

【日程】2025年2月2日(日)~9日(日)(8日間)

【会場】横浜BUNTAI(中区不老町2-7-1)

【もうしこめる人】

横浜市に住んでいる人、市内に職場や学校がある人

【もうしこみ期間】11月5日(火)12:00~18日(月)23:59

※もうしこみが多い場合は抽選となります。

過去の選手権大会のようす



▲上野 美優選手(SC軽井沢クラブ)



▲清水 徹郎選手(コンサドーレ)



▲藤澤 五月選手(ロコ・ソラーレ)

きくところ にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 TEL:045-671-3583 FAX:045-664-0669

**エコハマ 横浜市エコ家電応援キャンペーン 第2弾**

**もうしこみは今すぐに！期間内でも、予算いっぱいまでになると、それより早く終わってしまいます**

ポイント還元にはもうしこみが必要。製品を買ったお店でもらった「申請チケット」を使って、オンラインまたは郵送で手続きしてください。なお、最終日(早く終わる場合にはその最後の日)のもうしこみは、抽選で還元になるかもしれません。



かわいいことはこちら



きくところ

エコハマお客様専用コールセンター TEL:045-900-4830(毎日10:00~18:00) FAX:045-277-1423(耳が不自由な人だけ)



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今月は、これからの時期は紅葉も美しい俣野別邸庭園(戸塚区)からです。

ウェブ版では、抽選で読者プレゼントがあります

もっと面白い話はこちら



### 昭和モダンと季節の変化を楽しむ場所 ~俣野別邸庭園の魅力~

またのべつていていせん えんちよう くりばやし えみ  
俣野別邸庭園 園長 栗林 恵美

俣野別邸庭園は、川の流れて、高くなったり低くなったりしている地形が特徴の自然が美しい公園です。

園内は、内苑区と外苑区にわかれています。内苑区の中には、横浜市認定歴史的建造物になっている俣野別邸があります。外苑区には、ひろびろとした芝生広場があり、さまざまな植物が植えられています。晴れた日には富士山や丹沢の山なみを見ることができます。

俣野別邸は、住友家16代目の当主の自宅として1939年に建てられました。日本の建築とヨーロッパの建築をあわせた住宅で、1930年代のモダニズムの影響を受けた建物として、国の重要文化財になっていました。建物は火事ではなくなくなりましたが、保存されていた部品や材料も使って建てなおされました。扉や照明器具など当時のすがたを残すインテリアをぜひ見てください。

外苑区では、サクラやツツジ、秋の紅葉など、季節の変化を楽しめます。野鳥のさえずりも聞こえます。専属ガイドによる園内ツアー「庭園散歩」では、庭園の魅力を紹介していて、毎月楽しんでもらっています。



▲緑ゆたかな庭園と俣野別邸 ©BAUHAUSNEO

コンサートや喫茶室でのティータイムなど、季節ごとのさまざまな景色を楽しみながら、くつろぎの時間をすごすことができます。手の込んだ住宅建築と緑ゆたかな庭園が調和する俣野別邸庭園。都市の中で今でも自然が多く残るユニークな空間へ、ぜひ遊びに来てください。

またのべつていていせん  
俣野別邸庭園

建物の中の見学は有料

【交通】「戸塚」「藤沢」駅から神奈中バスに乗り「鉄砲宿」下車、歩いて5分。駐車場(有料)もあります。  
【お休み】毎月第3木よう(祝日のときは、つぎの平日)、12月29日~1月3日



きくところ 俣野別邸庭園 TEL:045-852-8038 FAX:045-852-8048

## 後期高齢者医療制度 または 横浜市国民健康保険に入っている人へ マイナ保険証への切り替えはすんでいますか？



なるべく早くマイナ保険証へ切り替えてください。12月2日より後は、いま使っている紙の保険証は新しく発行されません。

マイナ保険証を持っていない人も安心して病院にかかることができます

- 12月2日から ▶▶▶ 2025年7月31日の有効期限まで、紙の保険証を使って病院にかかることができます。
- 2025年8月1日より後 ▶▶▶ 2025年7月のあいだに送られてくる「資格確認書」を見せれば、病院にかかることができます。



マイナ保険証についてはこちら

きくところ コールセンター TEL:045-620-8187(9:00~19:00(土よう、日よう、祝日・休日、年末年始はお休み)2025年1月31日まで) FAX:045-620-8509

# Live! 横浜 YOKOHAMA 2024

## 市民のみなさんと いっしょにつくりあげる フェスティバルを開きます!

**日程** 11月9日(土よう)・10日(日よう)、16日(土よう)・17日(日よう)

**会場** みなとみらい21地区を中心とした都心臨海部

※デイトタイム・ナイトタイムそれぞれにイベントあり

「Live! 横浜2024」では、音楽を中心としたライブエンターテインメントが町のなかで開かれます。プロのパフォーマンスを楽しめるだけでなく、市民のみなさんによるステージや子どもたちの活躍を応援できるステージなど、盛りだくさん。

まち歩きで楽しめるデジタルスタンプラリーもあるので、週末はライブで躍動するみなとみらいエリアへ!



くわしいことは  
こちら



### 市民みんなが主役

※画像はイメージです。

横浜のオープンスペースをいかした町の中のステージで、およそ1,400人の市民のみなさんがいろいろなジャンルの音楽やダンスを披露します。

いっしょに盛り上げて、ライブ感をあじわってください。

### 未来につながる、 未来を育てる



※画像はイメージです。

市内の中学校10校の吹奏楽部が横浜市消防音楽隊と共演します。また、全国大会の予選を勝ちぬいた市内の中学・高校ダンス部のステージもあります。

### Local Green Festival '24 サテライトステージ

横浜のすてきな景色を見ながら、大人気フェスの盛り上げを楽しめます!

出演予定

- JR桜木町駅前 YeYe、Qnel
- ランドマークプラザ内 Eminata
- 運河パーク DJ KENTA、矢部 ユウナほか

※くわしい出演スケジュールはウェブページで見てください。